

## 患者の皆さまへ

当院では、保有する既存試料・情報を用いて下記の研究を実施しております。このような研究の実施に当たっては、研究対象者の方に研究の参加を拒否する権利が保障されております。(オプトアウト)

この研究に関するお問い合わせなどありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

尚、研究又は他の研究機関への患者さんのデータ提供は、研究実施許可日から研究終了日の期間に行います。

### 記

|                   |   |
|-------------------|---|
| 研究機関名             | 市立豊中病院  |
| 研究実施許可日           | 2023年1月27日  |
| 研究終了日             | 2025年12月31日 まで  |
| 研究の名称             | 当院における腹壁ヘルニア嵌頓治療に関する後向き研究   |
| 研究対象              | 2012年以降に腹壁ヘルニア(鼠径ヘルニア・大腿ヘルニア・閉鎖孔ヘルニア・臍ヘルニア・腹壁癒痕ヘルニアなど)と診断された患者さん  |
| 対象材料              | 診療記録  |
| 対象期間              | 2012年1月1日から2022年9月30日   |
| 研究の目的意義           | 腹壁ヘルニアに一定の割合で発生する嵌頓に対する、用手的還納や手術による治療といった治療の実態を把握することで、今後の診療をより安全・的確に行うようになれることが期待されます。                             |
| 方法                | 2012年以降に腹壁ヘルニア(鼠径ヘルニア・大腿ヘルニア・閉鎖孔ヘルニア・臍ヘルニア・腹壁癒痕ヘルニアなど)と診断された患者さんを対象に、診療記録やCT画像を用いて、用手的還納成功率、用手的還納不能となるリスク因子などを調べます。 |
| 個人情報の取り扱い         | 該当する患者さんの情報は匿名化するため、個人情報は特定されません。   |
| 問い合わせ先<br>(研究責任者) | 市立豊中病院 消化器外科<br>鈴木 陽三<br>TEL06-6843-0101  |